

平成 29 年度事業計画

平成 29 年度事業計画の概要

公益法人後 6 年を迎え、不特定多数を対象とした公益事業の推進とその充実を図る事を重要課題とする。そのため、管理栄養士・栄養士の育成事業は、平成 26 年度から新たにスタートした生涯教育基本研修、実務研修を中心に、専門職業人としてキャリア支援を行う。高度な専門知識・技術の習得を目指すことに重点を置き、県民の健康増進、疾病予防、疾病の重症化予防等の達成と正しい知識の普及と実践への活用を進める。さらに栄養の指導や支援を通して県民の個々の健全な食生活を支える地域社会作りと公衆衛生の向上に寄与する事業の展開を計画した。

1. 栄養の科学と技術の振興事業

本事業は、県民の健康・食事の実態等と栄養指導・食事療法に関する調査・研究・技術開発、郷土料理の研究と料理・献立の創作等による食文化の発展的承継に資する活動、および、県等の健康政策立案への貢献などを通して、食と栄養の科学及び実用技術を振興させる事業である。

今年度の事業は以下の通りである。

・第 43 回福岡県栄養改善学会

公衆栄養、栄養指導・食事療法（栄養管理）、介護予防、在宅支援に関する調査研および業務上で成果があった事例や施設における新しい試み（実践）など、昨年（17 演題）を上回る演題発表を目標に開催する。

2. 県民の健康づくりの担い手となる高い専門性をもった人材の育成

本事業は、県民の QOL の向上、健康寿命の延伸を目的に、県民が質の高い栄養指導及び食事療法を身近に受けることができるように、高度の専門的技能を習得する支援を行うものである。県民一人ひとりのかけがえのない命を尊び慈しむ姿勢を身につけた管理栄養士・栄養士を輩出するために各種の研修等に取り組むものである。事業の柱は、生涯教育制度として実施される諸種の研修事業であり、全職域に共通した基本研修事業とそれぞれの職域の専門性を高める実務研修事業とからなる。

今年度の事業は以下の通りである。

（1）生涯教育基本研修事業

卒後教育の研修は、すべての管理栄養士・栄養士を対象として実施し、専門職業人としての強靱な基礎知識を身につけさせることを目的とする。

・生涯教育研修会

専門職業人として、日々進歩する医学・栄養学に立脚した「根拠に基づいた栄養管理」「栄養の指導」や「栄養管理の実施・モニタリング・評価・管理記録」などの必要不可欠な基礎知識を学ぶことができる基本研修の中軸をなす研修会である。卒後教育の一環として初任者から中堅者を対象に、最新の診療ガイドラインにそった食事療養、栄養管理の基礎を学ぶ場でもある。

今年度の研修内容は、

「栄養スクリーニング at リスクを見逃さない食事・栄養管理～低栄養からメタボまで～」

「腎臓 基礎から学ぶ腎疾患の食事療法・栄養管理法 習得実践講座 腎臓の構造と機能・病態 腎
「なぜ認定制度が必要？ マイキャリアの作り方～超高齢社会における食事・栄養管理の重要性
「仕事の成果を上げるために身に付けておきたいこと～「栄養の指導」の専門職として必要なこと～
「健康日本 21 から読み解く健康対策～生活習慣病・高齢者のフレイルを中心に～」
「わかりやすい！食物と医薬品の相互作用」
「即実践！今日から役立つ栄養塾」「献立計画の基礎と応用～管理栄養士・栄養士がマスターすべき食
事管理プロセスとは～」
栄養管理まるわかりシリーズ①～⑩として業務に必要な疾患の病態と栄養・食事管理について学ぶ講
座を設定した。

「最適な栄養ケアのための基本と実際～栄養ケアプロセスとは～」
疾患の食事指導・栄養管理で効果を上げる」
「高齢者の身体機能と病態～サルコペニア フレイルとリハビリテーション栄養～」
「高齢者の栄養アセスメント 急性期・回復期・在宅それぞれに応じたアセスメント」
「高齢者の栄養評価 明日から役立つ！適切な栄養評価を行うための知識習得講座」
「糖尿病 高齢者 糖尿病指導のトピックス 高齢者糖尿病の血糖コントロール目標」
「いちから始める栄養指導」
1. これからはじめる透析予防のための栄養指導 2. 極めたい高齢者に対する栄養指導」
「栄養管理記録 多職種の業務に役立つ栄養管理記録の基本」
「実践 栄養管理記録 明日から実践 ～問題点、プランが良くわかる栄養管理記録を徹底習得～」
これらの知識を実践し、エビデンスとして研究発表に向けてのデータの取り方、研究方法、論文作成
に向けての下記研修も5回シリーズで開催することとした。

「楽しい統計学と研究デザイン ～論文を読み解く～」等である。

この研修会は県内の4地区（福岡、北九州、筑後、筑豊）で6回開催する。

・支部研修会

各職域に共通した管理栄養士・栄養士の基本的知識やスキルを維持向上するための基本研修とし
て県内の2地区（北九州、筑後、）において2回開催する。（筑豊地区は基本研修に組み入れている）
研修内容は「漢方と栄養について」「地域で支える食と栄養」などである。

（2） 実務研修事業（特定職域その他の研修事業）

実務研修は、基本研修を補完し発展させるものである。医療・福祉・公衆衛生・研究教育・学校健
康教育・地域活動・勤労者支援の7職種の業務特性に即した専門性の向上および各種課題に応じた研
修会を開催する事業である。

今年度の職域ごとの研修会は以下の通りである。

・医療事業部研修会：

「もう迷わない！水分管理の考え方とその実践テクニック」 筑後

「摂食嚥下障害に対するアプローチ～口から食べることを包括的に支援するために～」 福岡

「がんステージにおける血糖管理・栄養管理～もう迷わない！糖尿病とがん、がん患者の血糖コン
トロール」 北九州

「呼吸器疾患に関連した低栄養および栄養管理の実践～体のしくみ・疾患・病態のつなが

りと栄養サポートへの活かし方～」福岡
「おさえておきたい！ 栄養療法の基礎～これでわかる！ 静脈栄養法、輸液の栄養管理法
を身につける～」 筑豊
「医療と介護、地域をつなぐ栄養管理～栄養情報提供書を書いてみよう～」福岡

- ・福祉事業部研修会：
「高齢者における認知症対策と栄養ケア」
- ・公衆衛生事業部研修会：
「それぞれの地域の現状やニーズにあった計画策定と評価方法を学ぼう」
- ・研究教育事業部研修会：
「管理栄養士・栄養士養成教育の視点と今後のあり方について考える」
- ・学校健康教育事業部研修会：
「チャレンジ、個別指導！ 待ったなし、子供の肥満とやせ対策を始めよう」
- ・地域活動事業部研修会：
「地域包括事業のこと、どのくらい知っていますか？～地域ケア会議症例検討会に参加し
てみよう～」
- ・勤労者支援事業部研修会：
「スチコンの調理法を見直してみよう、味覚センサーをチェックしてみよう」

(3) 研修に関わる付随事業

- ・「病院等栄養管理の基本と実際」の刊行
平成 28 年度診療報酬改定に伴い「病院等栄養管理の基本と実際」を 4 月に改訂、さらに平成 29 年 2 月に一部改訂を行った。
研修会で活用し、管理栄養士・栄養士への頒布・販売を実施する。
- ・研修会案内（広報部）
当会が計画する研修会情報を「栄養ふくおか」として年 4 回、案内葉書として年 1 回を作成・送付し、会員や県民の研修機会拡大を図る。
- ・日本栄養士会 会員WEBサービスの運用（広報部）
日本栄養士会が運営する会員WEBサービスシステムを利用し、会員や県民に研修会情報を提供する。

3. 健全な食生活のための県民の自律の支援

本事業は、生涯を通じた食育や健康づくり、生活習慣病予防等を目的に地域に密着して実施するもので、講演会、食生活診断、栄養指導、調理実習、展示等を通して、正しい知識の普及と実践への支援を進める事業である。また、疾病の重症化予防や寝たきり予防、高齢者の低栄養等を改善する介護予防事業及び食事療養を必要とする傷病者への栄養食事指導を行うことにより QOL の向上を高める等、食と栄養の指導や支援を通して県民の公衆衛生の向上に寄与する事業である。

今年度の主な事業は以下の通りである

(1) 栄養ケア・ステーション事業

- ・高齢者食生活改善事業（個別栄養相談・栄養教室）（北九州地域活動）（福岡地域活動 志免町）
- ・訪問型介護予防事業（北九州地域活動）
- ・「栄養士会料理教室」の開催
（筑豊支部）（福岡地域活動 西部ガス）（北九州地域活動 妊婦栄養教室）
- ・生活習慣病予防等、県民向けの講演会活動
- ・地域包括ケア会議に係る助言者派遣
福岡支部（宗像市・糸島市） 北九州支部（苅田町・岡垣町）
筑後支部（久留米市・小郡市） 筑豊支部（直方市・嘉麻市・田川市）

（2）イベントにおける栄養相談事業

・健康 21 世紀福岡県大会

県民の自主的健康づくりを支援・健康寿命の延伸を旨とし、福岡県と県内の健康づくり関係団体が連携して開催する。今年度は、筑豊地区にて開催

・地域健康フェア

市町村・医師会・歯科医師会・地域諸団体との連携のもと、食育推進や生活習慣病の予防・治療について地域住民の意識向上を目指して、16の地域で開催する。

・市民糖尿病教室

糖尿病及び合併症予防に関する正しい知識の普及を図ることにより、QOLの高い暮らしの実現を目指し毎年、糖尿病週間に医師会、栄養士会、薬剤師会および、糖尿病療養指導士会等との協働のもと、福岡、北九州、筑後、筑豊の4地区で開催する。

・歯の健康教室

口腔の健康づくりに関する正しい知識の普及、歯科疾患を予防する適切な習慣の定着を目的として7地域で開催する。

（3）市民公開講座（セミナー）

・食育推進実践セミナー

食育の推進をテーマに、アクロス福岡において、年に12回（毎月第2火曜日）講演を行い、広く県民に対し、食生活の質の向上、食事を含む生活習慣の見直しと改善に役立つ知識や知恵、実用技術の普及を行う。

・県民料理教室

この事業は、県民が料理を通じて食育の実践ならびに郷土の食文化などを学ぶための講習会である。筑豊支部 桂川町総合福祉センターでの開催予定。（3回、4/26.5/24.6/28）

・健康セミナー

本会および看護協会、診療放射線技師会、臨床検査技師会で構成された福岡県医療団体協議会が公開講座を行う。毎年1回（2月）開催され、医療に携わる専門家が、県民と一緒に健康増進、疾病の重症化予防をより深く考える機会とする。

（4）無料職業紹介事業

管理栄養士、栄養士への無料職業紹介を行い、情報の掲示は本会ホームページ及びおよび当会事務局にて行う。

（5）栄養情報コミュニケーション事業（広報部）

・ホームページ事業

健康づくりや食育など県民を対象とした地域イベントの案内や栄養士による季節に応じた献立・県産農産物を使った料理レシピを掲載する。また、「栄養ふくおか」と連動し、地域における栄養ケア活動への参加を呼び掛ける。

4. 県民の健康を育む食環境の整備

本事業は県民の健全な食生活の形成に寄与しうる地域社会の諸資源（人と物と仕組み）を有機的に結び付け、その機能を改善・活性化させることにより、望ましい食環境の整備を図る事業である。この事業は、①栄養・食生活の改善を支援する保健、医療、福祉及び教育等の分野の各職種や有識者、自治体等の連携・協働関係の構築、②適正な食生活を応援する公共又は民間の諸制度の推進・運用改善の取り組みなどの柱からなる。これは県民の健全な食生活を支える地域社会づくりの事業でもある。

・各種委員会を通じた連携・協働関係の構築

地域住民の健全な食生活を支える食環境を整備するため、これに資する地域基盤の各種委員会や協議会に参画し、その連携と活動の強化により公衆衛生の向上に寄与しようとするものである。

今年度の主な委員会・会議は以下の通りである。

生活習慣病対策検討委員会、いきいき福岡健康づくり、福岡県介護予防市町村支援委員会、全国高等学校総合体育大会実行委員会および専門部会、福岡県医療審議会、ふくおかの食と農推進会議、福岡県学校給食審議会、福岡県歯科保健医療推進協議会、慢性腎臓病予防対策検討部会、食と健康フォーラム実行委員会、福岡市学校給食運営検討委員会、福岡市食育推進会議、北九州市保健所運営協議会、北九州市食育推進懇話会、福岡県医療団体協議会、福岡県食生活改善協会、福岡県公衆衛生協会、福岡県保険者協議会、など

5. 法人運営・管理

栄養士会の重要な意思決定会議および主要な法人事業の日程は次のとおりである。

- ・総会 6月3日（土）、ナースプラザ福岡
- ・栄養士大会 9月17日（日）、ナースプラザ福岡
- ・理事会 4月15日（土）、7月15日（土）、8月30日（水）10月21日（土）、12月6日（水）、2月15日（木）
- ・新入会のつどい 8月5日（土）予定
- ・レシピコンクール 9月10日（日）会場 中村学園大学